

# 市議会だより

懇談会



宮城県立東松島高等学校

行政を身近に感じてもらうため  
東松島高校を訪問して議会懇談会を開催

## 東松島市 第50号

平成30年11月1日発行

- 歳出決算総額631億6,906万円…………… P2
- 補正予算 赤井小および大塩小エアコン導入に伴う調査設計費を計上… P6
- 日本ウェルネス高等学校の誘致に関する請願審査および決議… P7
- 一般質問～15人が市政をただす…………… P8



議会映像配信サイト  
QRコード



東松島市は政府からSDGs未来都市に県内で唯一選定されました。



ホームページ <http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/31.htm>  
E-mail [h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp](mailto:h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp)  
議会映像配信ページ <http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp>  
※ホームページアドレスが変更となりました。

発行/宮城県東松島市議会  
編集/議会広報常任委員会

9月  
定例会

平成29年度決算



# どう生かされたたまちの税金

## 一般会計歳出額

429億1,695万7,159円

## 一般会計・特別会計歳出総額

631億6,906万3,565円

### 復興完結へ計画通りに事業進行し、決算額減少

一般会計、特別会計の総計決算額は歳入で前年度比約71億円減の約673億円、歳出で前年度比約40億円減の約632億円となりました。

震災以降、決算額は年々減少しておりますが、歳入歳出ともまだ半分以上が震災関連分です。しかし決算審査の中では、ハード事業においては大きな遅れもなく計画通りに進行しており、終結に向けた復興の歩みを感じ取れました。

平成32年度に復興庁が閉鎖されることもあり、今後はより効率的な行財政運営が求められます。財務常任委員会でもとめた審査記録の内容は4ページです。

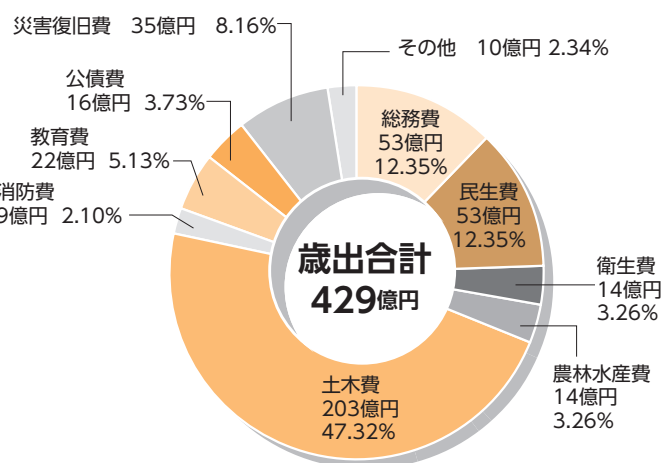
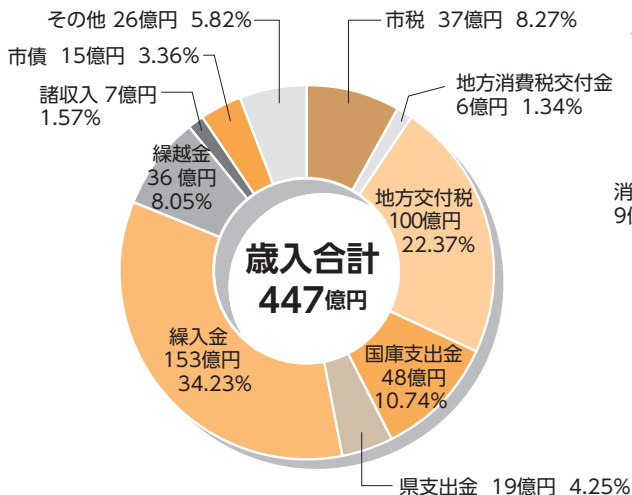
## 平成29年度 各会計決算状況

(単位：千円)

会計別		歳入	歳出
一般会計		447億4,742万2	429億1,695万7
特別会計	国民健康保険	55億9,538万4	54億0,757万9
	後期高齢者医療	3億7,124万2	3億6,160万9
	介護保険	31億2,338万4	30億5,114万4
	農業集落排水事業	1億3,252万2	1億3,159万2
	漁業集落排水事業	722万2	709万7
	下水道事業	103億7,105万0	86億9,197万0
	野蒜北部丘陵地区土地区画整理事業	11億5,003万0	11億5,003万0
	大曲浜地区土地区画整理事業	17億8,305万6	14億5,108万5
	(特別会計小計)	225億3,389万0	202億5,210万6
合計(一般会計+特別会計)		672億8,131万2	631億6,906万4

※各会計、百の単位で四捨五入。(端数処理の関係で、合計額は一致しない)

## 平成29年度 一般会計決算収支状況



※各会計、千万の単位以下切り捨て。



## 代表監査委員報告

### 予算執行状況は適正

土井代表監査委員より「審査に付された平成29年度各種会計の歳入・歳出決算、実質収支および財産に関する調書、基金の運用状況は、いずれも法令に準拠して作成されており、予算執行状況につ

いても適正と認める」とする決算審査意見の報告がありました。



▲決算審査意見書「適正と認める」

## 決算審査 財務常任委員長報告

### 審査結果は全会計「認定すべきもの」

審査は一般会計ほか国民健康保険・下水道事業・震災復興関連事業など8特別会計の審査を財務常任委員会で行いました。

同委員会では、より専門的に審査を行うため①総務分科会②民生教育分科会③産業建設分科会を設置しました。

3分科会は所管する各担当課職員を説明員として出席要求し、質疑・委員間討議等を行いながら慎重に審査しました。

また、小野地域ふれあい交流館を含め、8箇所の現場を調査しました。

各分科会の審査および現場調査を踏まえ、同委員会は、平成29年度決算について、14件の特に留意すべき事業案件の記録を付し、「認定すべきもの」と決しました。

9月28日、第3回定例会の閉会日の財務常任委員長報告では、審査結果を全会計「認定すべきもの」と報告し、採決では、総員賛成で認定することに決定しました。



▲熱海重徳財務常任委員長、「認定すべきもの」と審査報告



▲財務常任委員17名および議長で現場視察（洪抜雨水ポンプ場）



▲平成29年度決算の認定、総員賛成で原案のとおり可決



▲待機児童対策、補助金効果を確認（ウェルネス保育園矢本）

## 平成29年度 一般会計決算

### 市の財政状況は？

財政力は？

財政力指数 **0.42**

数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。平成28年度は0.41。

余力は？

経常収支比率 **85.4%**

数値が高いほど財政状況が悪い。平成28年度は83.7%。

借入金の負担度は？

実質公債費比率 **8.5%**

25.0%以上は財政健全化計画を策定しなければなりません。

財務常任委員会は、3分科会を設置し、各種会計決算の審査を行いました。総務・民生教育・産業建設の各分科会は9月14日から同月26日までの期間で内部審査と現場調査を実施しました。

分科会審査の中で各分科会の審査内容の記録をピックアップして紹介します。

## 総務部防災課

### 防災対策推進事業

防災備蓄品の賞味期限が迫った食料を、市内行事や生活困窮者救済のためNPOへ提供をしたが、廃棄処分した食料もある。

対策を考えるべきである。

## 総務部市民協働課

### 地方創成拠点整備交付金事業

小野地域ふれあい交流館が完成し、プロポーザル方式により業者を選定し、10月中旬を目途にオープンする予定だが、周知徹底して活用すべきである。



▲小野地域ふれあい交流館（現場視察を実施）  
にぎわい創出が期待される

## 復興政策部復興都市計画課

### 防災集団移転元地の管理

東日本大震災後に購入した土地の管理について、民地周辺の土地で草が生い茂り、適切に管理していない土地がある。

適切に管理すべきである。

## 産業部農林水産課

### 6次産業化推進事業

本市の6次産業化の取り組みについては旧態依然としており今後は先進自治体を参考にして新たな発想で展開すべきである。

## 産業部商工観光課

### 観光関係団体の育成

観光客人込数を増加していくためには今後のあらゆる取り組みを強化すべきであり、特に本市の観光振興の役割を担う各関係団体に対しさらなる指導育成に取り組むべきである。

## 建設部建築住宅課

### 市営住宅管理事業

本市の災害公営住宅の建設が今年度で完了するため震災以前の市営住宅の管理業務について新規公営住宅の入居状況を踏まえ移転・集約を検討すべきである。

## 市民生活部市民課

### マイナンバーカード普及事業

さらなる普及率向上を目指すべきである。

## 教育委員会学校教育課

### 学力向上推進事業

多岐にわたる努力は認められるが結果不足。

さらなる努力が必要である。

## 教育委員会教育総務課

### 奨学金貸付事業

過年度分滞納件数 29 件。

貸し付け規定にのっとった滞納への対応が必要であり、基金運営に遺漏の無いよう努めるべきである。



総

括

質

疑

Q

&

A

Q

&

A

Q

&

A

Q

&

A



清風・公明  
五ノ井 惣一郎議員

### 平成29年度決算審査 意見書の所見を伺う

**Q** ①復旧・復興に邁進するには、安定した財源の確保が不可欠であるが、考えを伺う。

**A** ①安定した財源確保が不可欠であり、人口減少対策と企業誘致による雇用創出を着実に推進し、内部経費の抑制を図り、事業執行に努める。

**Q** ②「持続可能な行財政構造の構築が早期に求められる。」についての考えは。

**A** ②実施事業の規模、時期の精査、経常的な内部経費の抑制の事業執行を図り、持続可能な行財政構造の構築

に努める。

**Q** ③補助金・助成金は必要性・妥当性を十分検討され透明性を確保したいとの所見を伺う。

**A** ③補助金・助成金は予算編成時に必要性、妥当性、効果等を詳細に精査し実績報告、支出時期等の妥当性を確保する。

**Q** ④不納欠損の早期対応を望むとあるが所見を伺う。

**A** ④預貯金、給与、年金、売掛金、家賃の差し押さえも行い、今後不納欠損が生じないように、徴収率向上に努める。



▲さらなる徴収率向上へ



清新会  
滝 健一議員

### 決算の総括で 後年度の成果を

**Q** 平成29年度一般会計決算の単年度収支は、約11億円にも及び赤字である。特別会計全体でも6億5千万円の赤字です。この結果をどう踏まえているか。

**A** 平成29年度の単年度収支の赤字は、28年度の実質収支が復興事業費等による不用額が大きかったためである。財政運営上適正である。

**Q** 平成29年度一般会計、市税の不納欠損額が28年度の4・56倍、特別会計は3・59倍である。その起因は。

**A** 不納欠損額が増加したのは、東日



▲市企業立地推進事業

本大震災による失業やその後の生活再建などに伴い、資力が回復できず、差し押さえ等の処分まで至らず、5年の時効に達した案件が大幅に増加したことによる。

**Q** 決算は予算を執行した結果、その成果をどう総括するかが重要である。特に厳しい後年度の財政見通しを、どう克服するか。

**A** 今後も企業誘致や国、県交付金等の効果的活用などに努める。また、実施事業の規模や時期の精査、内部経費の抑制と、メリハリのついた事業執行を図る。

**Q** 国民健康保険特別会計の不納欠損、収入未済への対応、県広域化制度への影響は。

**A** 東日本大震災による被災から生活



▲市外からの観光客増加に期待

### 阿部市政継承 からの決算を問う



市民クラブ  
小野 恵草議員

**Q** 市長交際費をどう施策へ反映したか、また予算効果は。

**A** 主なものとして宮城オルレ奥松島コース認定、東京オリンピックパラリンピック復興ありがとうホストタウンの決定や松島基地の聖火到着地決定等の他、防衛省をはじめ国等各機関における本市の各種取り組みへの支援など政策推進に大きな成果があった。

再建に至らないため、差し押さえ等の処分ができず時効が成立した結果による。収入未済額は、縮減傾向にあり、成果が表われている。今後も財産調査による処分の徹底等、より一層努める。県制度への影響は、ない。

**Q** 一連の観光推進事業の検証結果、予算効果および事業継続の見解について。

**A** 関係団体との事業展開による交流人口拡大に努めた結果、観光客人込数の回復に成果があった。さらなる交流人口拡大と観光関連産業の活性化へ継続して取り組む。

9月14日、財務常任委員会付託による平成29年度決算審査に先立ち各会派を代表する議員が総括質疑を行いました。質疑内容を抜粋して紹介します。

## 第2回臨時会(6/29)可決議案

市長提出議案1件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記の通りです。

議案番号	件名と主な内容
議案第91号	平成30年度矢本海浜緑地休養施設新築工事請負契約の締結について …宮城県が整備する矢本海浜緑地の事業区域内に、防衛施設周辺民生安定施設整備事業により、パークゴルフ場利用者の休養施設を新築整備するもの。鉄骨造、一部3階建て、延べ床面積502.32㎡。

## 第3回臨時会(7/27)可決議案

市長提出議案3件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記の通りです。

議案番号	件名と主な内容
議案第92号	平成30年度防災行政無線(同報系)戸別受信機設置工事請負契約の締結について …東松島市独自の放送(火災等)について、現在の60MHzから280MHzのデジタル方式へ変更することに伴い、平成30年度は戸別受信機5,490台(鳴瀬地区全域)を購入するもの。
議案第93号	(債)平成30年度東松島市新矢本西市民センター建設工事(建築工事)請負契約の締結について …新矢本西市民センターの建築工事に関し、(株)加賀田組東北支店と請負契約の締結をしたもの。市民センター(集会所)鉄骨造、平屋建て、建築面積1601.72㎡、延べ面積1329.22㎡(建設工事に伴う外構工事含む)
議案第94号	(債)平成30年度東松島市新矢本西市民センター建設工事(電気設備工事)請負契約の締結について …新矢本西市民センター建設工事に伴う電気設備工事一式について、日本製紙石巻テクノ(株)と請負契約の締結をしたもの。工期は平成31年6月28日まで。

## 9月(第3回)定例会可決議案

市長提出議案17件を全会一致で原案のとおり可決しました。議案の件名と主な内容は下記の通りです。

議案番号	件名と主な内容 ※ほかの記事で説明した議案の説明は省略しています。
議案第95号	東松島市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について …今回の法改正については、直接的な影響は及ばないが、地域再生法に規定する認定事業者に対する固定資産税について、一定期間不均一課税を行うための認定期限を、平成32年3月31日まで延長するもの。
議案第96号	東松島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について …家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の平成30年4月27日施行に伴う改正。
議案第97号	東松島市火葬場条例の一部を改正する条例について …新火葬場位置は東松島市大塩字引沢17-1。年令区分の見直しも行ない15才を区切りとする他、新火葬場の運営にあたり、年間の維持管理運営費用も現在より増加することから供用開始を機に使用料金を改定するもの。
議案第98号	東松島市企業立地優遇条例の一部を改正する条例について …企業誘致の推進にあたり、優遇制度の対象となる地域を拡大するとともに、排水設備等補助金の新設により優遇制度を拡充し、企業立地の促進および立地企業の育成により産業の振興ならびに雇用の創出を図るもの。
議案第99号	東松島市営水泳プール条例を廃止する条例について …市営矢本水泳プール(矢本東小学校敷地内プール)は昭和44年に、また市営鳴瀬水泳プール(旧鳴瀬未来中学校校舎敷地内プール)は昭和46年にそれぞれ設置した施設であるが、処分制限期間の30年を過ぎているため、廃止するもの。
議案第100号	(債)平成30年度赤井排水区(雨水排水)下水道函渠工事請負契約の締結について …東松島市赤井字川前二地内外、施工延長325.9mを簡易土留工法にて開削工事を行うもので、齋藤工業(株)と請負契約を締結したもの。なお、工期は平成31年10月31日まで。
議案第101号	(債)平成30年度下街道排水区(雨水排水)下水道函渠工事請負契約の締結について …東松島市矢本字南浦地内、施工延長169.0mをオープンシールド工法にて開削工事を行うもので、高橋土建(株)と請負契約を締結したもの。工事は平成31年4月まで終了予定で、それ以後12月まで仮設道路の撤去作業。
議案第102号	(債)平成28年度東名漁港海岸施設外災害復旧工事請負変更契約(第3回変更契約)の締結について …主な変更内容は①直立式堤防における網管杭の長さの変更。②直立式堤防終点側について、現場打ちコンクリートによる直立式堤防へ変更するもの。③水替工はウェルポイント排水工法へ変更。
議案第103号	石巻地区広域行政事務組合規約の変更について …平成14年12月に建設したごみ焼却施設(石巻広域クリーンセンター)に係る公債費負担について、当該地方債の償還が終了したため、当該公債費の負担割合に係る文言を削除するもの。(平成30年4月1日から適用)
議案第111号	平成30年度大曲浜地区被災市街地復興土地地区画整理事業造成工事請負契約の締結について …防災集団移転促進事業により買取りした移転元地を活用し、「被災市街地復興土地地区画整理事業」による産業の復興および雇用の促進に資する土地利用を図るため、造成工事を実施するもの。

**Q**

業務委託料) 除対策事業調査測量設計(東名運河南地区内排水排除対策事業)の工事の詳細について。

**A**

本市のパークアンドライドの脇に、合同庁舎の駐車場が手狭なために市民が停める駐車場も合わせて整備し、面積の按分を県から負担金として徴収する。(57.2万2千円の増額)

**Q**

説明を伺う。

**A**

東日本大震災の家屋が全壊、半壊した世帯が対象で合わせて351軒で、全体の7割が対象になる。(9、258万1千円の減額)

**Q**

被災者減免について。

**A**

震災前から新町、西余景には排水機場があり、今回、効果促進事業で再設置をする委託費である。(8、447万2千円増)

**Q**

3年という契約期間なのか、それから1年で約2、440万円で何人分になるのか。

**A**

来年度から新業務を3年間、契約業務をす。また、来年度からはALT(語学指導助手)を4名から5名体制にする。

**Q**

5歳出、総務費、防犯対策推進事業

**A**

石巻警察署から特に自転車盗難等の発生頻度が高いと要請があった矢本駅に設置する。

第3回定例会 補正予算(議案第104、109号、第111号)

補正予算総額 41億9703万3千円の増額 (補正予算総額に追加補正含む)

赤井小学校および大塩小学校エアコン導入に伴う調査設計費を計上(486万円の増額)

一般会計ほか5特別会計の補正予算および一般会計の追加補正予算を全会一致で可決しました。

①歳入、民生費負担金、保育所保護者負担金(現年度分)

②歳入、総務費雑入、仮設駐車場整備事業費負担

③歳出、教育費、外国語指導に関する労働者派遣業務委託料(債務負担行為)

④歳出、教育費、外国語指導に関する労働者派遣業務委託料(債務負担行為)

⑤歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑥歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑦歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑧歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑨歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑩歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑪歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑫歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑬歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑭歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑮歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑯歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑰歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑱歳出、総務費、防犯対策推進事業

⑲歳出、総務費、防犯対策推進事業





# 15議員が 市政をたずね

一般質問は、議員が本市の一般事務に関する質問を行ったり、政策提言を行うことなどを言います。議論の様子は録画中継でもご覧になれます。

## 議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

- ①小中学校、児童生徒を対象とした環境整備について  
齋藤 徹 P 8
- ①企業誘致について  
②老朽化している市営住宅の入居者対策について  
石森 晃寿 P 9
- ①災害対策について  
熊谷 昌崇 P 9
- ①異常気象の頻発による防災・減災の実効性ある対策を急げ  
②骨髄移植ドナー助成制度を創設し命を守る政策を充実せよ  
③がん患者の社会復帰支援のため助成制度を確立せよ  
土井 光正 P10
- ①学校給食費の無料化・助成の取り組みについて  
②原子力災害広域避難計画について  
長谷川 博 P10
- ①オルレの今後の取り組みを問う  
阿部 としゑ P11
- ①本市の持続可能な開発目標（SDGs）の今後を問う  
②新パークゴルフ場の経営を問う  
佐藤 富夫 P11
- ①児童、生徒の通学状況に関する諸課題について  
滝 健一 P12
- ①SDGs 未来都市計画推進に向けての具体策について  
②オリンピック聖火受け入れ態勢について  
③みどりの少年団を設立せよ  
上田 勉 P12
- ①J R 矢本駅北側出入口および周辺整備について  
②人口減少対策について  
熱海 重徳 P13
- ①鳴瀬未来中学校に関わる問題を問う  
②セルコホームあおみなの関連施設の利活用等の問題を問う  
小野 幸男 P13
- ①子育て支援策について  
手代木 せつ子 P14
- ①東松島市福祉プラザの創設と健康福祉の諸問題について問う  
②起業教育にチャレンジをすべき  
櫻井 政文 P14
- ①地域要望にどう応えていくのか  
②学力向上対策を問う  
小野 恵章 P15
- ①ソフトバンクとの包括協定を活かす  
②女川原発再稼働報道に何う  
五ノ井 惣一郎 P15

### 1、小中学校・児童生徒を対象とした環境整備について



齋藤 徹 議員

**Q** 児童生徒を対象とした環境整備について

**A** 学力向上へ向けて環境整備に努める

**Q** ①本市教育現場  
において、さまざま  
な取り組みが行われて  
いるが、過去に多くの議  
員からも質問が上がって  
いる市内小中学校のエア  
コン設置の件に対して、  
市長が来年度予算にて、  
赤井小学校、大塩小学校  
へのエアコン設置に意欲  
的である旨の報道があっ  
たが、設置完了の予定時

期は。

②学力向上対策の一環と  
して今年度から実施して  
いる夏休みの短縮につい  
て、今年度の各校の取り  
組み状況と今後予定の計  
画は。

では、来年度のエアコン  
設置へ向けて準備してい  
く。

③正しいつある本市教育  
環境であるが、学力向上  
の具体的な数値目標は。

市内小中学校のエアコン  
設置率は、実質100%  
となる。

③関係者の理解を得なが  
ら、授業時間の確保と有

効活用し学力向上を目指  
す。

教育長 ①市長答  
弁の通り、来年度  
中に整備完了を予定して  
いる。

②授業時間の増による補  
充学習、個別指導の充実  
と授業の質の向上、市報  
等を通じた市民への広報  
に取り組む。

③宮城県、全国の正答率  
を下回る結果であるが、  
まずは平均を上回ること  
を目標として、全力で取  
り組む。



▲学力向上へ向けて、公平な学校環境の整備充実を





熊谷 昌崇 議員

1、災害対策について



▲企業誘致と誘致先の整備

- 1、企業誘致について
- 2、老朽化している市営住宅の入居者対策について



石森 晃寿 議員

Q 企業誘致について

A これまで以上にトップセールス

Q ①企業誘致のこれまでの取り組みについて、今後の取り組みについて。

A ②企業を誘致する市内の工業団地の区画が残り少ないことから、企業誘致先の整備が急務となるので、三陸自動車道の奥松島インター付近および矢本インター付近の土取り場跡地や市有地を誘致先

③企業誘致のスペシャリストとして東松島市企業立地推進員を委嘱していると思うが、活動しているか。

④企業誘致にもう少し、経費をかけてトップセールスする考えは。

⑤思いきった優遇措置を講ずる考えは。

市長 ①企業誘致の取り組みにつきましては、私のマニフェストに沿ったトップ政策として努めてきた。

今後の取り組みは、既に立地いただいた企業に対して増設の働きかけや、新規の企業誘致に向け、県と連携しながら、トップセールスを進めていく。

②議員ご指摘のとおり、勧告等の避難情報の名称については、災害対策基本法や内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」により定められている内容に従って発令し、例えば、「避難準備、高齢者等避難準備開始」を発令する場合は、「避難準備、高齢者等避難開始」を発令します。避難の準備を始めて下さい。避難に時間のかかる方は避難を始めて下さい」等とし、分かりやすい表現を使用し運用する。



土取り場跡地は、私としても有効な場所であると考えている。

また、市有地については、本市へ立地を希望する企業の意向を伺いながら、検討する。

③法人2社および個人一人が活動している。

④議員ご指摘のとおり企業誘致を有利に進めるためには、市の先行投資は、不可欠である。

⑤本市独自の「排水設備等補助金」など講ずる。

Q 災害対策について

A 分かりやすい言葉で運用する

Q 昨今、昔に比べて自然災害が多くなってきたと感じられる。本市では東日本大震災以降、津波対策をはじめ、豪雨等の雨水の冠水対策等の防備を強化している。最近、50年に一度の雨や100年に一度といった言葉や台風の進路の変化により、今まで経験したことのないような災害が

起こる可能性が高くなっている。西日本豪雨災害では、0・3%の人々しか避難しなかったことが大きな問題となっている。そこで、避難準備情報、避難勧告、避難指示という一般的なものの順番で強い言葉なのか分かりづらい言葉の変更等、より認識しやすい言葉への変更を検討し周知すべ

きではないか？

市長 本市においては、総合防災訓練や地域独自の防災訓練を年2回開催している防災研修会において、各種防災意識の維持向上を図っている。

その中で、緊急時ににおける理解しやすい言葉の使用との提言だが、災害時に市長が発令する避難



▲避難指示等の言葉の違い



長谷川 博 議員

- 1、学校給食費の無料化・助成の取り組みについて
- 2、原子力災害広域避難計画について

**Q** ①避難計画の課題はその後どうなっているか。審査大詰めとされた女川原発再稼働の見通しは。東海村では事前了解権を周辺5自治体にも盛り込んだ協定を3月に締結した。UPZの安全協定でノーと言えるのか。

**A** ②学校給食費の無償化・助成は全国に広まってい

る。文科省調査によれば506自治体で29・1%で実施、宮城県では8自治体で取り組まれている。保護者の負担軽減、子育て支援、定住につながるなどの成果あり。

一気に無償化でなくとも段階的な助成もある。被災世帯の支援が廃止される時期を見計らって検討すべき。

**Q** ①避難計画の課題はその後どうなっているか。審査大詰めとされた女川原発再稼働の見通しは。東海村では事前了解権を周辺5自治体にも盛り込んだ協定を3月に締結した。UPZの安全協定でノーと言えるのか。

**A** 市長 ①継続課題としていた避難用バス・運転手の確保、ヨウ素剤の配布、退域検査場所等、いまだに国の原子力防災協議会で検討中であり、いつ出来るか分からない。

現時点で計画の完成度は4割程度か。

再稼働の時期は国の審査、検査・協議などを経



▲平成29年11月、県の原子力防災訓練の様子



▲急がれる浸水ハザードマップの作成 (写真は平成20、21年度に作成)



土井 光正 議員

- 1、異常気象の頻発による防災・減災の実効性ある対策を急げ
- 2、骨髄移植ドナー助成制度を創設し命を守る政策を充実せよ
- 3、がん患者の社会復帰支援のため助成制度を確立せよ

**Q** ①異常気象等による災害発生に独自の高齢者等の「災害弱者」の命をどう守るかという課題についてどのように対応していくのか。

**A** ②骨髄バンク登録ドナーの検査等による通院や入院による経済的負担を軽減し、骨髄移植に望みをつなぐ人たちに光を届けよ。また、治療で免疫を

失った方への予防接種の再摂取の助成制度を創設せよ。

**Q** ③がんを患ったときのさまざまな生活上の問題に対応する「がんコンシェルジュ」のチームをどう考えるか。また、乳がん患者の胸部補正具等の購入費助成を実施せよ。

**A** 市長 ①共助の中心となる自主防災

組織、消防団、民生委員に対し災害弱者などの避難行動要支援者名簿を提供し把握に努めており、いざという時に迅速に対応出来るよう事前研修等を行い、迅速に対応できるように備えていく。

②骨髄バンクドナー助成については、平成31年度の導入をめざす。

また、治療で免疫を失

った方への予防接種の再接種者の経済的負担の軽減及び感染予防のため補助制度の導入を検討する。

③がんに関する様々な情報やサービスの仲介役を担う「がんコンシェルジュ」は必要なものと考えている。社会福祉協議会をコンシェルジュの窓口として検討していく。

また、乳がん患者の胸部補正具等の購入費助成は経済的負担軽減のため、助成制度の導入を検討する。

## Q 防災・減災の実効性ある対策を

### A 危機管理監を配置し体制を確保







佐藤 富夫 議員

- 1、本市の持続可能な開発目標 (SDGs) の今後を問う
- 2、新パークゴルフ場の経営を問う

**Q** 国の地方活性化政策だが過去、幾多の同政策は物にならなかった。竜頭蛇尾にならないか。①目的と効果をと捉え、本市をどのように導いていくか。②国の具体的目標と財政裏付けについて。③プロジェクトチームが必要と思うが。④国の選定をされた29の自治体との連携は。⑤こ

**Q** 本市の持続可能な開発目標とは

**A** 国から選定され積極的に取り組む

の趣旨は国では省庁、地方は役所内の横の連携。一言で行政改革の推進と思うが市長の見解は。

**A** 市長 ①地方創生と捉え、対外的なイメージアップにより、観光・企業誘致等に役立てたい。また、理念・目標を市職員が共有して本市の持続発展に統一的な観点から取り組みができ

る効果がある。市職員の啓発も行う。

②全国の選定29地方自治体には国の予算84項目が提示された。本市が活用できる事項を検討する。

③市としての推進体制は、市長を本部長とするSDGs未来都市推進室を10月から設置する。

これにより各自治組織と連携もとって具体的な

取り組み推進を図る。

④他の選定自治体とは情報を共有し切磋琢磨しながら前向きに取り組む。東北地方では、本市のほか、秋田県と山形県から市、町が選定されている。これらと連携を密にして、本年度内に3市町サミットを本市において開催したいと思う。

⑤全くその通りである。これは本市単独でできるものではない。

関係する全団体との連携が必要。

エス・ディ・ジーズ  
**SDGs 未来都市としての東松島市**  
～持続可能な都市の実現に向けて～



▲成功すれば本市の将来は明るい。竜頭蛇尾にはなるな!!



▲オルレコースを楽しく歩く人たち



阿部としゑ 議員

- 1、オルレの今後の取り組みを問う

**Q** オルレの今後の取り組みを問う

**A** おもてなしの実践研修を実施

先進地である九州オルレを視察研修し、間もなく宮城オルレ奥松島コースがスタートする。実績のある九州オルレでも日々改善の努力をしているということ

で今後のオルレの取り組みを伺う。オルレとは？地図を片手にリボンや標識を巡って歩く旅。家から通じる狭い路地地を通る

ように自分のペースで楽しむ韓国生まれの山歩き。地元宮戸に十分な説明を行い理解を得ているか。オルレ専門ガイドの必要性。JR野蒜駅からスタート地点までの送迎バス等の考え、コースの安全対策。九州オルレの場合、町中に自然や観光スポットが次々登場するため飽きがこない。飲食店やス

**A** 市長 宮戸地区自治会長会議で説明。地元からは、宮戸地区の交流人口が拡大し歓迎の声が聞かれる。

奥松島観光ボランティアの会や地域おこし協力隊が中心となりガイドを務める。常設の送迎バスの運行は考えていない。レンタサイクルの利用を働きかける。

安全管理については、定期的な巡視と維持管理を行う。消防署や医療機関に対して救急時に備える。セルコホームあおみな食堂の常設や商品の充実。施設広場を使った出店。

おもてなしの接遇と指さし外国語会話シートの実践研修を実施している。





上田 勉 議員

- 1、SDGs 未来都市計画推進に向けての具体策について
- 2、オリンピック聖火受け入れ態勢について
- 3、みどりの少年団を設立せよ



▲教育環境のますますの整備、充実に期待

**Q** 次の大綱3点について市長に伺う。  
①SDGs 未来都市計画推進に向けての具体策について ア「市民協働のまちづくり」イ「推進体制」ウ「他自治体・デンマーク王国との連携」エ「コミュニティ・スクー

**A** 市長 ①ア、「心の復興」を重視し、持続的発展を図り地方創生への取り組みを行う。特に「あおい地区」「野蒜ヶ丘」などの行う独自目標として取り組み「同居世帯への見守り」「住民ボランティア導入」など地域の特色ある実先例には、予算面においても考慮する。

イ、10月から「未来都市推進室」を設置する。ウ、SDGs 未来都市に選定された東北地区3自治体と「未来都市3市町サミット」開催予定。デンマーク王国とは、東京オリンピック・パラリンピック「復興ありがとうホストタウン」としての関わりの中で連携していく。

**A** 教育長 ①エ、地域全体で子供を育て、開かれた学校を目指し、夏休みの短縮によって確保された授業数30時間を十分活用し、内容の充実を図る②歓迎セレモニー、ハード的な整備など、国や関係機関に要望する③海岸沿いの松林等の再生や防潮林等の大切さを理解するために「みどりの少年団」を設置する。コミュニティ・スクールの活動の中で地域の皆さまの協力を得たい。



▲新しいふるさとづくりは、祭りから

**Q** SDGs の具体策を示せ

**A** 予算措置し、ゴールをめざす



滝 健一 議員

- 1、児童、生徒の通学状況に関する諸課題について

**Q** 東日本大震災から七年半経過し、復興の進展により、本市の児童、生徒の教育環境は、かなり整備されつつある。特に鳴瀬地区の通学はどのような状況になっているか、今後の諸課題について伺う。

**A** 根拠と保護者の理解度はどうか。  
②鳴瀬未来中に鳴瀬、吉田両川を越えて通学する生徒の通学状況を鑑みると、通学距離6km未満でもバス送迎を実施すべきである。その考えは。  
③学校が変わると色々な要望が出る。慣れるまで特に丁寧に対応すべきと思われるかどうか。

**A** 教育長 ①「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」の規定で、中学校は6km以内を通学距離としていたことから適正と考えている。保護者の理解度については、新校舎移転に先立ち、保護者に通学方法について説明をしており、おおむね理解されている。

②鳴瀬未来中のバス送迎については、6km未満は国や県の財政支援がなく、市単独費のみでの運行は非常に困難である。通学路となっている鳴瀬大橋については、昨年度から市長とともに国に安全対策として転落防止柵等の対応を要望している。  
③要望には関係者が丁寧に対応し、地域の教育課題にも、真摯に対応していきたいと思う。

**Q** 子供の通学状況に関する諸課題  
**A** 地域の教育課題に真摯に対応







小野 幸男 議員

- 1、鳴瀬未来中学校に関わる問題を問う
- 2、セルコホームあおみなの関連施設の利活用等の問題を問う



▲整備が期待されるJR矢本駅

- 1、JR矢本駅北側出入口および周辺整備について
- 2、人口減少対策について



熱海 重徳 議員

**Q** 学路の安全対策として、河川側に滞留スペースを拡大せよ。

**Q** 未来中学校の体育館ステージ両側の頭上危険箇所

**Q** 今後の生徒数の減少対策を伺う。

**Q** セルコホームあおみなのパイオマストイレの異臭等の改善を伺う。

### 各施設の改善策を伺う 安全に使用できるよう検討

**Q** ①鳴瀬大橋の通学路の安全対策として、河川側に滞留スペースを拡大せよ。

**Q** ②未来中学校の体育館ステージ両側の頭上危険箇所

**Q** ③今後の生徒数の減少対策を伺う。

**Q** ④セルコホームあおみなのパイオマストイレの異臭等の改善を伺う。

**Q** ⑤体験施設の利用状況とお風呂の利活用の今後の取り組みについて。

**Q** ⑥セルコホームあおみなの利用客または海水浴帰りの方々が投棄されるゴミ対策を伺う。

**Q** ⑦遊覧船の桟橋とセルコホームあおみな施設の有効な利活用も兼ねた県の護岸工事の埋め立て地の今後の取り組みは。

**A** 市長 ①通学路の安全対策は、今後



**A** ②関係機関と連携し生徒に対して安全教育等の指導に努める。

**A** ③生徒達がより安全に使用できるよう検討する。

**A** ④今後の生徒数を推測すると当面一学年2クラス

**A** ⑤配置が可能である。

**A** ⑥12月の補正で処理装置の増設を早急に検討する。

### JR矢本駅整備について 利便性の向上に努める

**Q** 北側出入口を主とするJR矢本駅とその周辺の再開発は、本市にとっても長年の懸案事項であり、早期実現に向け現時点での市長の考えを伺う。

**Q** ①事業に至る経緯と必要性について。

**Q** ②設計概要について。またロータリー、駐輪場等の周辺整備について。

**Q** ③財源確保について。

**A** 市長 ①以前から取得困難であった駅北側用地が売り出されたとの情報が入り、南北通路を避難経路として整備する調査計画に至った。

**A** JR矢本駅は仙石線、仙石東北ラインが停車する利便性があるほか、集団移転や災害公営住宅が駅北側に整備され、その

必要性は以前より高まったと考えている。

**A** ②JR東日本仙台支社との協議では、架線の上を通る南北通路のほか駅舎も含めた整備計画が必要であり、調査設計の手順を踏み具体的な工事に着手する認識を示されている。今後、ロータリーや駐輪場等も含めた整備手法を引き続き協議してい



く。

**A** ③財源については集団移転地の住民等の利便性を高めるとともに、津波発生時の避難施設として、復興予算による事業化に向け、復興庁をはじめ関係機関に要望している。しかしJR側との調整から、復興財源が終了する平成32年度までの事業完結が難しいことも想定されるため、他の補助事業等による財源確保も検討する。



▲通学路の安全対策の改善が待たれる鳴瀬大橋交差点



櫻井 政文 議員

- 1、東松島市福祉プラザの創設と健康福祉の諸問題について問う
- 2、起業教育にチャレンジをすべき



▲一生懸命に運動会の練習をしています

**Q** ①地域福祉をとりまく市民のニーズは多岐にわたる。このニーズにワンストップで対応するための相談拠点となる施設である東松島福祉プラザの創設をすべきである。この施設は災害時の防災拠点も抱合するものである。上記と以下、福祉の諸問題を問う。福祉プラザ創設までの暫

定施設として旧石巻地方広域水道企業団西部地区管理事務所を活用してはどうか。市民協働の理念をいかにして住民に啓発、強化するか②A1時代を生きる子供達に起業教育で生きる力を育成し、創造性や思考力、個性を養い育むことが重要。時代に置いていかれないよう起業教育に挑戦を。

**A** 市長 ①福祉プラザの創設については、必要性を感じているが、財源確保の課題があり、今後、慎重に検討していく。管理事務所については施設活用に係る可能性を調査検討している。市民協働の理念の啓発の強化は市報等を活用して取り組んでいく。また、自治会組織等と連携

**A** 教育長 ②起業教育に関係する取り組みとしては「あかいつこカンパニー」が挙げられる。この活動で「グッドデザイン賞」を受賞した実績がある。今後は校長会等で各学校の取組を情報共有し、コミュニケーション・スクールでの活用を検討していきたい。またプログラミング教育は外部団体との連携を模索する。



▲福祉プラザを創設し、「福祉のまち」づくりを強力に推進を！

**Q** 市福祉プラザ創設と起業教育は

**A** 必要性を感じており、検討する



し、取り組みを強化していく。

- 1、子育て支援策について



手代木せつ子 議員

**Q** 国は来年10月から、消費税アップ分を財源に、4月から5才児のみ一部スタートし10月から親の所得に関係なく3才〜5才までの全ての子供と、0才〜2才までの住民税非課税世帯の子供を対象に、幼児教育無料化を始めようとしている。

本市は既に18才まで医療費は無料化され、その上幼児教育の無料化となれば、子育て世代に人気を集め、子供の数も増え保育の受け入れ体制が整わず、待機児童が多くなる問題が発生するのではないかと危惧するが、子育て支援に力を入れ、まちづくりを進める市長の今後の待機児童対策について所見を伺う。

**A** 市長 現在、保育料に関しては、特例として東日本大震災の被災世帯を対象に減免措置を対応しているが、次年度も国の財源が確保されれば実施したい。

なお、幼児教育無料化については、国、県から正式な通知は届いていない。今後詳細が分かり次第、実施に向け対応する。

**Q** 幼児教育無料化に伴う対策は

**A** 赤井地区に認可保育園誘致



今年度に入り、4月、民間認可保育園「ウエルネス保育園矢本」や、5月、企業主導型保育施設「緑ヶ丘ひかり保育園」が開園し待機児童も39人から24人となった。

さらには平成32年4月、赤井地区に定員75人の民間保育園が開園予定である。

市では保育士の安定的な確保を重視し本年度5人、来年度3人、以降も需要バランスを見て計画的に確保する。





五ノ井惣一郎 議員

- 1、ソフトバンクとの包括協定を活かせ
- 2、女川原発再稼働報道に伺う

**Q** 本年1月12日、本市はソフトバンクと、情報通信技術（ICT）を活用した連携包括協定を結んだ。6分野で連携協力し市政発展や市民サービスの向上につながるかとされ、同社は包括協定を結ぶのは東北で初めてだ。大震災後、新しいまちづくりを目指す本市にとって、広い分野

**Q** ソフトバンクとの包括協定に伺う

**A** 包摂協定を活かし積極的に図る

次 の 3 点 を 伺 う 。  
 ① ワーキンググループの構成メンバーはいかに。  
 ② 協定の6分野の取組みは。重要な課題を伺う。  
 ③ これを機会に同社との関連企業誘致を強力に進めよ。考えを伺う。

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① 市民の皆さまの意志として提出したあく要望書は、市議会における議員の一般質問とともに、いずれも重く受け止め、その具現化等に向けては、市の政策方向との整合性、財源、実現可能性、投資効果などを可能な限り詳細に精査し、総合的に判断している。

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① ソフトバンクと包括協定したのは、東北では初めてだ。

ワーキンググループの構成メンバーは、学校教育、教育総務、健康推進、高齢障害支援、商工観光復興政策、総務の各課の担当者がソフトバンクの担当者との協議をする。今後、子育て支援課、



▲ソフトバンクとの包括協定



▲どう結論!? エレベーター設置は



小野 恵章 議員

- 1、地域要望にどう応えていくのか
- 2、学力向上対策を問う

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① 市民の皆さまの意志として提出したあく要望書は、市議会における議員の一般質問とともに、いずれも重く受け止め、その具現化等に向けては、市の政策方向との整合性、財源、実現可能性、投資効果などを可能な限り詳細に精査し、総合的に判断している。

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① 市民の皆さまの意志として提出したあく要望書は、市議会における議員の一般質問とともに、いずれも重く受け止め、その具現化等に向けては、市の政策方向との整合性、財源、実現可能性、投資効果などを可能な限り詳細に精査し、総合的に判断している。

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① 市民の皆さまの意志として提出したあく要望書は、市議会における議員の一般質問とともに、いずれも重く受け止め、その具現化等に向けては、市の政策方向との整合性、財源、実現可能性、投資効果などを可能な限り詳細に精査し、総合的に判断している。

**Q** エレベーター設置要望は

**A** 6カ月後に結論

市 長 ① 市民の皆さまの意志として提出したあく要望書は、市議会における議員の一般質問とともに、いずれも重く受け止め、その具現化等に向けては、市の政策方向との整合性、財源、実現可能性、投資効果などを可能な限り詳細に精査し、総合的に判断している。

## 宮城オルレのオープンに向けて

産業建設常任委員会は7月2～4日にわたり佐賀県武雄市・唐津市・鹿島市において所管事務調査のテーマ「観光交流人口の拡大への取り組みについて」「6次産業化を目指す東松島ブランドの確立（農業・水産業）」の2点について行政視察を実施しました。特に10月にオープンする宮城オルレ奥松島コースの参考に九州オルレ2カ所を選定しました。

●佐賀県武雄市 九州オルレ武雄コースは平成24年に九州オルレの中で一番目に開設されたコース



▲武雄市、議場にて行政視察

●佐賀県唐津市 九州オルレ唐津コースは平成25年に認定九州オルレ第3次コース初～中級コースに設定、コースの前半は肥前名護屋城跡を中心とした陣跡を巡り後半は玄



▲唐津市、オルレコース整備を視察

界灘の潮風が感じられる海沿いのコースです。近隣の武雄市、嬉野市と提携したオルレイベントを開催しています。

●佐賀県鹿島市 産業活性化施設「海道（みち）しるべ」は鹿島市内の農林水産物などさまざまな地域資源の研究や加工、新たな地域活力の創造や産業活性化の拠点施設です。加工品開発実績はH26～29年度で55品目です。



▲鹿島市、海道しるべを視察

### 産業建設常任委員会

委員長 大橋博之  
副委員長 熱海重徳  
委員 齋藤重徹  
阿部としゑ  
櫻井政文  
滝健一

## 平成29年度 政務活動費使用状況

### 政務活動費とは

政務活動費を、議員の調査研究やその他の活動に対する必要な経費の一部として、1人当たり月額1万5千円を各会派に交付しています。各会派は、収支報告書に領収書などを添え、議長に提出することが義務付けられています。残額は市に返還し、交付額を超えた支出は議員の負担となります。

なお、政務活動費の平成29年度の交付対象期間は、議員改選に伴い平成29年5月から平成30年3月までの11カ月間です。また、復興クラブは平成30年3月31日をもって、解散しています。

(円)

会派名	人数	当初交付額	確定交付額	支出内訳					合計
				調査研究費	資料作成費	資購入	料費	事務所費	
清新会	5人	825,000	825,000	809,854	0	0	0	0	809,854
市民クラブ	5人	825,000	825,000	806,315	2,926	16,200	0	0	825,441
清風・公明	5人 (注1)	825,000	735,000	718,250	0	0	33,498	0	751,748
復興クラブ	3人	495,000	495,000	492,126	4,201	0	0	0	496,327
合計	18人	2,970,000	2,880,000	2,826,545	7,127	16,200	33,498	0	2,883,370

(注1) 清風・公明の会派人数は、古川泰広議員死亡に伴い、平成29年10月から4人となりました。

### 用語解説

●調査研究費：市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に関する経費

●事務所費：会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

※政務活動費は、市政について住民に報告するために要する経費、住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費等に充てることができます。



## 新公会計制度による 財務諸表 議員研修会を開催

8月21日、研修議題『平成28年度決算に係る新公会計制度による財務諸表について』を、総務部行政経営課長ほかを講師として、市議会議員研修会を開催しました。

公会計導入が図られるようになった経緯は、行政が通常行っている決算では、資産・負債のストック情報等の把握ができないため、それを明らかにすることを目的とし、長期的な財政状況を把握できる資料を作成する必要があったためです。市議会としては、本研修会で新公会計制度についての理解を深めることができました。



▲全国の自治体で導入がすすまっています。(総務省資料)

## 大田区議会(東京都) 友好都市交流 来市

8月2日、友好都市である大田区から、岸田哲治議長、勝亦聡副議長をはじめ全19名の議員に來市いただきました。

表敬訪問の際は、本市議会から、正副議長、各会派代表および各常任委員長が出席したほか、市長、両副市長および教育長が出席し、交流を図りました。

また、大田区の皆さまには、防災備蓄倉庫、宮野森小学校、震災復興伝承館およびスマート防災エコタウン等、本市の復興事業を視察いただきました。



▲岸田議長が大田区議  
会を代表してあいさつ ▲本市議会、阿部議長が歓  
迎の意を込めてあいさつ



▲防災備蓄倉庫(大塩)を視察



▲本市の津波監視システムについて研修を開催

## 豊前市議会(福岡県) 友好都市交流 来市

復興支援・政策推進特別委員会

8月24日、友好都市である豊前市議会の復興支援・政策推進特別委員会、5名の議員に來市いただきました。

24日に本市議会に表敬訪問いただき、交流を深めたほか、翌25日には、豊前市から同行されてきた商工会議所の皆さまとともに東松島夏祭りの豊前市PRブースを出店いただき、祭りを盛り上げていただきました。また物販の売り上げの全額を、本市に復興寄付金としてご寄付いただきました。

市議会一同、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲豊前市の皆さま、お疲れさまでした



▲豊富な物産があり、天狗伝承が息づく豊前市(観光パンフレットより)



▲にぎわう矢本駅前に出店いただきました

## 他議会からの視察来庁

- 7月 2日 室蘭市議会(北海道) 市民ネットむろらん(会派) 5名 「環境未来都市構想について」
- 7月 17日 中野区議会・杉並区議会(東京都) ※合同視察 立憲民主党(会派) 4名 「震災復興と防災について」
- 7月 18日 安城市議会(愛知県) 経済福祉常任委員会 7名 「再生可能エネルギーについて」
- 8月 21日 千葉市議会(千葉県) 公明党千葉市議会議員団(会派) 1名 「自主防災組織について」「がれき処理について」

# 石巻圏域で初の高校生との議会懇談会開催



7月17日、議会懇談会を宮城県東松島高等学校で行いました。

市議会議員が県立高校へ訪問しての議会懇談会は、石巻圏域では初の試みでした。

平成28年に選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことを受け、政治を身近に感じてもらうきっかけづくりとして開催しました。

今回は事前に全校生徒にアンケートを実施し、それをもとに全校生徒を代表した7名の生徒会役員と意見交換をしました。

出席議員は広報常任委員会委員で、司会を熱海重徳委員、開会あいさつを小野幸男委員長、市議会についての紹介、閉会あいさつ、総括を櫻井政文副委員長、記録を手代木せつ子委員と役割分担し担当しました。また、答弁は質疑事項を所管している常任委員会を代表して委員長である上田勉委員（民生教育常任委員長）、大橋博之委員（産業建設常任委員長）が務めました。

近隣市町村から電車で通学している生徒もいることから「バリアフリー化の推進」「分煙化推進について」など身近で切実な問題が提議されました。また、東松島市の今後について「子育てがしやすく、子どもたちが遊べる場所がたくさんある町」「色々な国の人々が集まるような国際色豊かな町」など若者らしい視点からの問いかけもありました。

今回の懇談会を通して、若者の率直で新鮮な意見を聴けたのは大変、有意義でした。また、このような機会を設けたいと考えています。

なお、熊谷昌崇委員は水道企業団議会臨時会出席のため欠席しました。

**質疑応答・意見交換のテーマについて、あらかじめ東松島高等学校で全校生徒アンケートを実施しました。**

**その回答を受けて東松島高等学校生徒会としてまとめた意見と、本市議会の回答が以下の通りです。**

## テーマ1 学校周辺や矢本駅等を利用して改善してほしいところ

### 1 バリアフリー化の推進について

質疑事項	回 答
<p>駅周辺の道路や歩道は老朽化が進んでおり、道路と歩道の段差や、その段差の欠陥箇所などが多く見られる。登下校時の安全確保の観点からも改善してほしいが、地域のお年寄りや子どもたちが暮らしやすいバリアフリーのまちづくりを進める観点からも、今後改善を期待している。</p>	<p>狭い道路、車いすや子供等の安全確保のため、優先順位をつけて整備している。線路と道路の間は、良くなったと思っている。裏を通して、真つすぐ駅に行くところ、学校の塀のところ、だいぶ進んでいるが、震災後、また県に要望等を伝えていく。健常者はよいが、塀側のところ、ごみ置き場については近所と相談が必要。これを機会に整備する方向で調整していきたい。</p> <p>バリアフリー化については、整備が必要である。</p> <p>駅前については、今後、校舎の西側、街灯のLED化を進める方向となる。冬場は中学生も通るので、塀側は優先的に進められるとよい。ご質問はありがたかった。</p> <p>震災の復旧、復興にあと2年要する。それ以降、様々な整備も、優先順位を決めて行われるものである。</p>

### 2 分煙化推進について

質疑事項	回 答
<p>公共の場所（今回のアンケートにおいては矢本駅）における喫煙所の設置に関して、全校生徒の多くから意見が集まった。</p> <p>昨今は喫煙スペースを個室化したり、距離を置いたりして分煙化する取り組みが進められている。矢本駅は、本校の生徒だけでなく、多くの高校生が利用している。私たち未成年が喫煙者の前を歩いて煙を吸ってしまうことによる弊害もあり、その煙に対して嫌悪感を抱いている生徒が多いことは今回のアンケートでも明らかになったとおり。ぜひ、対応策を考えていただきたい。</p>	<p>矢本駅はJRの管轄であるが、よい機会なのでアピールしていきたい。</p> <p>将来的に「ゆぶと」北側をつなぐ計画がある。</p> <p>その場所に喫煙場所を設置するよう、アピールしていきたい。</p> <p>法律で公共施設については、施設内は全面禁煙となっている。（分煙化は、市役所内でも実施）</p> <p>しかしながら、たばこ税として、東松島市に3億5千万円入ってきている。体には悪いが吸う方の権利もあり、分煙化するものである。</p> <p>平成32年度までには、新駅舎ができるかもしれないが、計画はあっても土地の問題もある。</p> <p>皆さんの若い意見は重要である。</p>



▲出席した女子生徒とも意見交換でき、貴重な機会でした  
平成30年11月1日発行



▲全校生徒を代表した生徒会役員から有意義な意見をたくさんもらいました



### 3 登下校の安心・安全について

質疑事項	回 答
学校から駅にかけて、街灯を増やしてほしい。本校は三部制であるため、登下校時間が夜間になる生徒も多くいる。また、一人ひとりが異なる時間割で生活しているため、暗い夜道を一人で登下校する生徒も多くいる。学校から矢本駅の区間は比較的人通りの多い区間だが、ぜひ街灯を増やしていただき、本校生徒の登下校時、および地域住民の安心・安全の確保につなげていただければ幸い。	道路には、街灯（皆さんが通っているところにあり、市で整備するもの）と防犯灯（壊れたら地域で直すもの）がある。 市道のをLED化するのには、市の予算が必要。国道や県道は、国や県の予算で行われる。地域の皆さんの安心、安全を考慮し、優先順位を決めて整備されるので、もう少し待ってほしい。

## テーマ2 これから東松島市にはどんなまちになってほしいか

こんなまちになってほしい	回 答
伝統芸能を大切にするまち	文化協会開催での市民文化祭で、絵画、踊り、歌等で参加してほしい。 鳴瀬鼓心太鼓、赤井小学校の太鼓、鹿妻の鹿踊り、大曲獅子舞など。観光の中で、芸能を伝承、継承していくことが課題である。 登米市は、歴史の遺産を大切にしているので、参考にしたい。
運動が気軽にできるまち	仮設住宅が建設された矢本運動公園は、震災前のように元通りにする方針。 鷹来の森運動公園、そして、これからであるが、野蒜の西側に大きな運動公園ができる。また大曲浜に海浜緑地公園が来年度オープンする。 徐々に公園も整備されてきている。
子育てがしやすく、子どもたちが遊べる場所がたくさんあるまち	現在、保育所の待機児童は20数人。ただ、定員と人数を比べれば、待機児童はいない。来年度、私立保育所を要望すれば、待機はなくなる見込みである。 また防衛省より補助金があるので、18歳までは医療費が無料である。 学童保育は、6年生まで受け入れている。各学校の敷地内、もしくは隣接に学童施設をつくる予定である。遊具も整備している。 今、東松島市は自治会制度になっている。皆さんの意見を大切にしたい。
色々な国の人々が集まるような国際色豊かなまち	外国人観光客、インバウンド対策、観光のまち。 野蒜、宮戸岬岬溪はダメージを受け、今は50%くらいの復興である。 韓国で平成19年にスタートしたオルレ、日本では九州が最初で12～15km、19コース。観光の名所、物産品を楽しめるコースになっている。市長が韓国と交渉した。宮城には、唐桑と宮戸の2か所である。 10月、最初のコースが始まる。 外国人を受け入れるハード面だけでなく、ソフト面を市民の皆さんに理解いただき、リピーターを求めるようにしたい。歩いて物産品を買っていただき宿泊していただく。 震災後、国際交流協会の活動は止まっているが、再活動させなければならない。 皆さんの意見を受け止め、しっかり市へ届ける。
(オルレについて再質問) トレッキングが気になった。誰でも参加できるのであれば、行ってみたい	先日、体験があった。無料で誰でも参加できる。
(オルレについて再質問) 昼食は歩きながら食べるのか	ハイキングのような気分で、自分で弁当を持参すれば一番いいかもしれない。 皆さん、宮戸島って知ってる？ JRを野蒜駅で降りる。6km歩き、宮戸の内側から見る。または船で外側から見る。4つの地区がある。 10月8日、東松島オルレはスタートする。 年齢が進めば、歩く機会を増やす必要がある。学校の授業の一貫でよい。岬岬溪遊覧を一度計画してみては、と先生方に要望してみてはどうか。

#### 開会あいさつ（小野幸男 広報常任委員長）

矢本高校から東松島高校と改名されたが、私は実家も近くにあり、幼少のころから思い入れのある学校です。高校生がこのまちをどう思っているのか、皆さんの活発なご意見をお願いしたい。

#### 閉会あいさつ（櫻井政文 広報常任副委員長）

生徒の皆さん、そして先生方も活発なご意見ありがとうございました。  
コミュニティ、大運動会、盆踊り等、目立つまちづくり、皆さんには演劇で名を売ってほしい学校になってほしいです。もっともっと議会を知ってほしいので、議会開会中は、傍聴にも来てほしいです。



▲櫻井政文副委員長より、市議会の役割について分かりやすく紹介しました



▲小野幸男委員長が開会あいさつし、会場の雰囲気を和やかにしました  
東松島市議会だより No.50

## 傍聴者インタビュー



おの やま み とも  
大山三智さん  
(上下堤)



## 平成30年 第3回 東松島市議会定例会を傍聴して

午前10時、議長さんより全員起立、礼の進行により開会いたしました。私は久しぶりに程よい緊張感を味わわせて頂きました。会議は議員各位の一般質問。テーマは児童生徒の環境、企業誘致、観光、人口減少、子育て等々多岐にわたって、市政課題に対し質問。真剣な質疑応答に大変感銘を受けました。議会の質疑応答を踏まえ、より良いまちづくりに邁進する事におおいに期待いたします。議員は市民一人一人の代弁者でもあります。議員各位の益々の御活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

## 持続可能なまちづくりを

政府は優れた取り組みを提案した全国29自治体を、「SDGs(エス・ディ・ジーズ)未来都市」として選定。宮城県からは唯一、東松島市が選ばれました。

今回お届けする議会だよりでは、記事の内容に関連する持続可能な世界を実現するための17の目標のロゴを記事に添えて掲載しました。

(一般質問の記事含め、広報常任委員会がロゴを選択しました。)



## ●●議会を傍聴してみませんか●●



定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市民の皆さんに深く関わりのある議案が審議されます。皆さまお誘いあわせの上、ぜひ傍聴にお越しください。(矢本庁舎3階の議場へ直接お越しください。受付簿へ住所、氏名の記載のみで入場できます。)

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議を生中継や録画映像で視聴できます。

※録画映像は、生中継終了後5日程度(土・日・祝日その他閉庁日を除く)でご覧になれます。



## 12月定例会日程(予定)のお知らせ

- 12月 6日(木) 本会議(議案審議等)
- 12月10日(月) 本会議(一般質問)
- 12月11日(火) 本会議(一般質問)
- 12月12日(水) 本会議(一般質問)
- 12月13日(木) 本会議(一般質問)
- 12月17日(月) 本会議(議案審議等)

※変更の場合がありますので、詳しくは市議会ウェブサイトをご覧ください。



議会日程ウェブサイトQRコード

## 議会中継はこちらから

東松島市議会映像

検索

お問い合わせ 議会事務局

☎ 0225-82-1111 (内線 1311-1314)

<http://www.higashimatsushima-city.stream.jfit.co.jp/>

## 編集後記

今年の夏は全国的な猛暑が続いた上に台風による豪雨災害が各地を襲い、そして大阪府北部地震・北海道胆振東部地震と日本列島全体が非常事態になりました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて今年度より新たな取り組みとなった議会懇談会については5月に松島基地の隊員の皆さまと7月には東松島高校の生徒さんと実施しました。今までと違ったスタイルでの質疑応答があり大変参考になりました。

今後も市内の各種団体の方々と開催していく予定です。「出前懇談会」ぜひご期待いただければ幸いです。

(大橋 博之)

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報常任委員会
熊谷	大橋	熱海	手代木	上田	櫻井	小野	幸男
昌崇	博之	重徳	せつ子	勉	政文	幸男	